

令和6年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年	第1学年	学 科 類 科 型	普通科・商業科
単位数	2単位	教科書	美術1（光村図書）				
副教材							

学習目標	美術 I の学習は、創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目標としています。 絵画や彫刻、デザイン(平面構成)、映像メディア（動画や画像の制作）などの制作を通して表現を工夫したり、作品の鑑賞からその良さを感じ取ったりする活動を行います。
------	---

キャリア教育の視点	美術が生活の一部となっている現在、楽しみ方は様々だと思えます。基礎となる知識や技術があれば、今までより更に美術を身近に感じ、自分に合った楽しみ方を発見することもできると思えます。卒業してからも美術に親しむために、知識を付け、感性を磨きましょう。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	鉛筆の使い方	鉛筆の基本的な技能を学びます。	合評会 合評会 作品提出
	5月	A鉛筆デッサン「見てかく」	基礎造形の描写練習をします。	
	6月	A表現「平面構成」	「平塗の技法」を習得し配色について考えます。	
	7月	B鑑賞 完成作品鑑賞	相互鑑賞で作品の良さを考えます。	
2 学 期	8月	A表現 絵画 「思い出の手」	主題を決めて絵画を制作します。	作品提出 合評会 作品提出
	9月			
	10月	B鑑賞 完成作品鑑賞	各自の作品を発表します。	
	11月	A表現 映像メディア	コンピュータを利用して画面構成について考えます。	
	12月			
3 学 期	1月	A表現 彫刻「箱の中の世界」	紙粘土、針金、木材等を利用して箱の中の世界を造形します。 それぞれの良さを相互評価します。	合評会 作品提出
	2月			
	3月	B鑑賞 完成作品鑑賞		

学習の方法	A表現は「絵画・彫刻」「映像メディア」「デザイン」の各分野の制作を行います。造形要素を理解する基礎練習を行った上で、自分の発想をいかして、楽しみながら作品を作っていきます。 B鑑賞は、1年生全体の作品をお互いに鑑賞し、その良さを見つける「相互鑑賞」と日本や世界のそれぞれの時代に応じた作品鑑賞しその良さや作者の意図や自分の感じたことを発表する「作品鑑賞」を行います。
-------	--

評価の仕方	(定期考査は行わない)	
	知識・技能	A表現 (完成作品、創造的な技能) B鑑賞 (ノート、小論文)
	思考・判断・表現	A表現 (主題の生成、サムネイル、ラフスケッチ、コンセプト用紙) B鑑賞 (鑑賞活動、発表内容)
	主体的に学習に取り組む態度	A表現 (活動状況、提出物、発表、作品の工夫) B鑑賞 (鑑賞の発表、共同的な活動状況、作文)

備考	
----	--